

列車代行、被災地の交通確保に向けて奮闘する バスの仲間をみんなで支えよう!

平成30年7月豪雨により、中国地方の鉄道は甚大な被害を受けました。大動脈である山陽本線は9月11日現在においても広島県内の三原駅から白市駅間（30.6キロ）が運転見合せとなっています。運転見合せ区間では代行バスが運行されています。

JR西日本・山陽本線
列車代行(三原～白市)

不通区間の駅を
バスでつなぎます



この代行輸送について、ジェイアールバス関東会社はJRバス関東本部に対して「2018年9月10日から12月下旬まで実施する」と説明しました。JRバス関東本部は山陽本線列車代行輸送を期間終了まで安全・安定輸送を確保し、組合員が安心して働ける体制を確立するため申し入れを行いました。

(※詳細はJR東労組バス関東本部 Super Highway 第14号を参照ください)

JRバス関東本部の仲間たちは「列車代行は社会的使命」と受け止め、厳しい要員体制の中でも最大限の協力体制を確立していきます。

最前線で奮闘するバスの仲間を全組合員で支えていきましょう!